

選択研修

<発達障がい>

「特別な支援が必要な子どもたちへの支援の仕方」

福島県特別支援教育センター 指導主事 遠藤 薫 先生

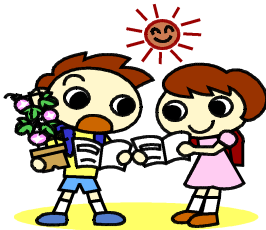
○講座の概要○

- ・ 特性の理解・疑似体験
- ・ 事例を通して考える
- ・ 保護者とのやりとり



○参加者の皆さんの感想○

- ・ 子どもの頑張りとお保護者の思いに共感することが一番頭に残りました。
- ・ 発達障がいについて、日頃迷いがありましたが、話を元に明日からまた支援をしていきたいです。
- ・ 今年から発達障がいを抱えているお子さんと関わることになりどう接してよいか大変困っていましたが、遠藤先生のお話からうろこのお話がたくさん聞けて気持ちが楽になりました。



<食育>

「幼少期から身につける望ましい食習慣」

医療法人仁寿会菊池医院 菊池記念こども保健医学研究所 管理栄養士 高橋 千春先生

○講座の概要○

- ・ 子どもの生活習慣の比較
- ・ なぜ、肥満はいけないのか
- ・ 食生活の見直し
- ・ なぜ、朝ごはんが大切なのか
- ・ 規則正しい生活習慣の樹立



○参加者の皆さんの感想○

- ・ 食生活が豊かすぎて肥満が増加傾向にあり、本人、家族の協力のもと、生活習慣の意識の重要性が分かりました。食が生きていく上で基本。まさしくその通りだと思いました。
- ・ 子どもの肥満を早めに改善することの大切さをわかりやすく学ぶことができました。



<メディア>

「幼少期におけるメディアとの関わり」

山形大学 学術研究院 准教授 加納 寛子先生

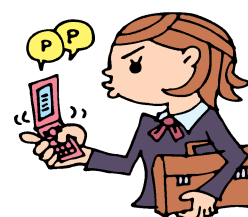
○講座の概要○

- ・ スマホやソーシャルメディアの普及
- ・ 幼児のテレビ・携帯ゲーム利用
- ・ 新たな課題…オンラインショッピング



○参加者の皆さんの感想○

- ・ メディアというどうしても子どもに悪い影響を与えるイメージでいたが、遠ざけるのではなく大人がしっかり正しい使い方を一緒にやっていくことの方が大事だということを知った。
- ・ 幼児期のうちから適切なメディア（本）を与え、情報リテラシー教育が必要ということが分かり、参考になりました。5歳の子どもがいるので、はじめていきたいと思います。



演習

「こんなのあったらいいね！」

講師やファシリテーターを務めるときに「使える！」プログラムを皆さんと一緒に作ってみましょう！

桜の聖母短期大学 助教 長谷川美香先生



○講座の概要○

- ・ 現代の保護者の特徴
- ・ 県「親育ち応援学習プログラム」の説明
- ・ 演習「プログラムを皆さんで作ってみましょう」



○参加者の皆さんの感想○

- ・ グループワークでいい案が出ました。50分があっという間でした。研修は新しい知識を得るだけでなく、さまざまな人と会って話すことも大切ですね。
- ・ 「使える！」まさにつかえます。いろいろな案があり、とても参考になりました。
- ・ 同じテーマでもグループごとに違った視点での意見が聞けてよかった。



☆皆さんのアイデアを「親育ち応援学習プログラム」に仕上げる予定です。ぜひ、ご活用ください！

